

# シートベルトの着用状況の調査結果！

警察庁と社団法人日本自動車連盟(JAF)は、平成30年10月1日から10日までの間に調査したシートベルト着用状況の結果を発表しました。

**全国におけるシートベルトの着用率**は、一般道路の運転席が98.8%（前年98.6%）、高速道路の運転席が99.6%（前年99.5%）、助手席も共に90%を超える高い着用率でした。一方、後部座席のシートベルト着用率は、一般道路が38.0%、高速道路が74.2%で、特に一般道路の後部座席の着用率が低い結果となりました。

**【滋賀県の結果】**は下表の通りです。

区分	区分		運転席		助手席		後部座席	
	一般道路	平成30年	滋賀県	98.5%	全国 32 位	95.5%	全国 31 位	38.2%
		全国平均	98.8%		95.9%		38.0%	
平成29年		滋賀県	98.0%	全国 38 位	94.2%	全国 34 位	44.6%	全国 9 位
		全国平均	98.6%		95.2%		36.4%	
		平成 30 年全国 1 位	99.8%	長崎県	98.5%	奈良県	59.5%	長野県
高速道路	平成30年	滋賀県	99.7%		99.2%		80.0%	
		全国平均	99.6%		98.5%		74.2%	
	平成29年	滋賀県	99.9%		99.6%		81.6%	
		全国平均	99.5%		98.3%		74.4%	
		平成 30 年全国 1 位	100%	青森県、宮城県 福島県、秋田県 山形県、山口県 長崎県、大分県 鹿児島県	100%	青森県、秋田県 香川県、大分県	95.2%	岩手県

**滋賀県のシートベルト着用率**は、一般道路での運転席・助手席とも全国平均を下回っています。後部座席は全国平均をわずかに上回っていますが、50%に満たないほど低い着用率です。高速道路においては、運転席・助手席は99%以上の着用率ですが、後部座席は80%の着用率となります。

平成30年中に滋賀県内で発生した交通事故については、件数や死者、怪我をされた方ともに、前年に比べ大きく減少しています。とは言うものの、39人もの方が、交通事故によって亡くなられています。



交通事故の多くは、交通ルールを守らないことや、脇見などのほんの僅かな不注意が原因で発生しています。ドライバーの皆さんは、交通ルールを守るとともに、周りの人への思いやり運転を心がけてください。また、交通事故によるけがを軽減するため、自動車を運転する時はもちろん、同乗者も必ずシートベルトを着用するとともに、お子さんはチャイルドシートの着用もお願いします。